

核融合エネルギーフォーラム会員各位

令和 2 年 11 月 11 日

シミュレーションクラスター
炉工学・炉材料モデリングサブクラスター
世話人 中村浩章（核融合研）
幹事 日渡良爾（量研）
幹事 渡辺淑之（量研）
幹事 齋藤誠紀（山形大学）

炉工学・炉材料モデリングサブクラスター会合
（令和 2 年度第 2 回）のご案内

平素より、核融合エネルギーフォーラムの活動にご協力いただきありがとうございます。
ごぞいます。

さて、シミュレーションクラスターの炉工学・炉材料モデリングサブクラスターでは、参画する研究者の裾野を拡大し、新たな研究者ネットワークの構築を模索しながら、炉工学シミュレーション・炉材料シミュレーション開発に向けた情報交換、原型炉設計との連携による統合コード開発に向けた情報交換、IFERC-CSC を利用した炉工学・炉材料シミュレーションに関する研究活動についての議論を行い、ITER や BA 活動における我が国の主導性を高めていくことを目的としています。

今回の会合では、現在、原子力分野で開発の進む ICT 保全の検討事例や、核融合炉工学・炉材料シミュレーション分野の最近の研究動向を踏まえ、原型炉の保全について議論致します。また、ITER や原型炉、LHD 等も含めたプラズマ・核融合システムの炉工学設計・材料設計に関して、国内のモデリング及び関連する実験研究を横断的に議論し、炉工学・炉材料モデリングサブクラスターの活動内容の現状と今後の方向性について議論致します。さらに、原型炉開発総合戦略タスクフォースが策定したアクションプランの進捗状況の確認及び今後の課題について検討いたします。

以下に、開催要領を記します。皆様方のご参加、宜しくお願い致します。

記

日 時：令和 2 年 12 月 15 日（火） 11 時～17 時

場 所：京都大学エネルギー理工学研究所

予定議題：

- 1) 概要説明
- 2) 先端 ICT 適用による原子力安全の高度化の検討事例について
- 3) 炉工学・炉材料シミュレーション分野の研究動向について
- 4) 総合討論
 - ・アクションプランの進捗状況の確認及び今後の課題の検討
 - ・IFERC-CSC スパコンを利用した研究課題
 - ・原型炉保全の方向性について
 - ・他のクラスター活動との連携

○申込先：渡辺淑之（量研、0175-71-6669、watanabe.yoshiyuki@qst.go.jp）

○参加申込締切：令和2年11月18日（水）

- ・核融合エネルギーフォーラム会員のみが参加可能です。事前登録（申込）を必ずお願いします。
- ・本会合の議事内容、録音、録画ならびに発表資料等の公開はご遠慮下さい。
- ・本会合で講演や発表などを希望される方は、タイトルや要旨を添えてお申し込み下さい。但し、時間の制約などご希望に添えないこともありますので、予めご了承下さい。
- ・コメント等がありましたら、参加申込書の該当欄にご記入下さい。

※申し込み・問い合わせとも、核融合エネルギーフォーラム事務局ではありません。ご注意下さい。

----- 参加申込書 -----

炉工学・炉材料モデリングサブクラスター会合
（令和2年度第2回）

氏 名：
会員 番号：
所属・職位：
連絡先：
電子メール：
コメント欄：

会合への参加はフォーラム会員に限らせて戴きます。入会ご希望の方は、
<https://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>
にアクセスし、サイドメニュー「入会のご案内」をご覧ください。
入会に当たり会費及び入会費は不要です。

以上

核融合エネルギーフォーラム事務局
E-mail: fusion-energy-forum@qst.go.jp
FAX: 029-270-7468
